

## 京阪本線（寝屋川市・枚方市）連続立体交差事業の 都市計画素案などの説明会に伴う主な質疑応答について

Q：都市計画素案に対する意見はどのように取り扱われますか？

A：都市計画素案の内容に関して意見を述べるができる公聴会を開催します。公述意見を聴取するとともに、その意見に対する見解書を作成し公表します。その後、公述意見を踏まえて原案を作成します。

Q：今後の都市計画決定スケジュールはどのような予定ですか？

A：大阪府では9月末、枚方市では10月初めに公聴会を開催します。その後、平成24年春頃に都市計画原案の縦覧を行い、都市計画審議会に諮り、平成25年春頃に都市計画決定を予定しています。

Q：事業着手時期、用地買収時期、事業期間など今後のスケジュールはどのような予定ですか？

A：平成25年度に事業着手を予定しています。その後、事業説明会を開催した後、平成26年度以降で用地協力をお願いし、平成31年度頃から工事に着手して、平成40年度の完成を予定しています。

Q：鉄道を高架化することによって、今よりも環境が悪化しませんか？

A：今回の説明会では、騒音・振動・低周波音・電波障害について現地調査を行った結果を報告しました。今後、平成24年春頃に環境影響評価書準備書の説明会を開催し、将来の環境予測等について報告する予定です。

Q：買収範囲は鉄道敷きからどこまでですか？

A：場所によって異なってきますので、詳しくは、枚方市都市整備部都市計画課までお問い合わせください。

Q：中振交野線、北中振線や光善寺駅前交通広場などの整備時期はいつごろを予定していますか？

A：鉄道交差化の完成に合わせてことを目標に整備を実施する予定です。事業着手時には、事前に説明会を開催しお知らせします。

Q：環境側道は、どのような道路として整備を行うのですか？

A：環境側道は、鉄道を高架化することによる、騒音・振動・日照・電波障害などの影響を軽減する範囲として高架構造物より6m確保することになっています。基本的に幅員6mの断面構成は歩道2.5m、車道3.5mの一方通行ですが、一部区間は、両面通行も予定しています。また、駅前交通広場へ接続する環境側道については、自転車・歩行者専用道路と計画している区間もあります。ただし、交通規制については、地域住民の方々の意向をお聞きし、警察との協議も踏まえたうえで決定する予定です。

Q：なぜ、地下方式で整備しないのですか？

A：既設の高架から地下にすりつける区間で地域分断が解消されない区間が残ってしまいます。また、施工性や経済性等総合的に判断して採用していません。

Q：直上高架方式で整備しないのですか？

A：直上高架方式は、現計画よりも用地買収範囲が広がることと、施工性や経済性等総合的に判断して採用していません。

Q：高架完成時の踏切除却部分はどのような計画になるのですか？

A：基本的に、現踏切位置には鉄道に対して横抜き道路を確保する予定ですが、地域住民の方々の意向をお聞きし、警察との協議も踏まえたうえで決定する予定です。

Q：駅舎の位置は変更するのですか？

A：枚方公園駅は現位置より大阪方に、光善寺駅は現位置より京都方にホームが移動する計画としております。ただし、改札位置については両駅とも概ね現位置付近に計画します。